

## 平成 25 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	のびのび福島の子供たち聖高原サマーキャンプ 2013!
事業主体 (連絡先)	麻績村サポーターOMIMO 090-9664-6725
事業区分	地域協働に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	550,980 円 (うち支援金: 413,000 円)

## 事業内容

福島県郡山市を中心に、守成クラブ郡山が公募した25家族... (大人27名子供52名) 7.9名が8月2日から5日までの3泊4日のサマーキャンプを行いました。期間中、家族が自由に遊べる時間を設けるとともに、松本大学の矢崎准教授による親に向けた心のケアの講座、子供たちの工作体験、麻績村の子供たちと昔の遊びで交流、サマーナイトフェスティバルに参加、じゃが芋掘り体験、バーベキュー交流会、キャンプファイヤーを行いました。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

## 事業効果

今回で3年目になる本事業ですが、前回同様参加された親子は、のびのびと聖高原と麻績村での体験を満喫しました。子供たちは、松本大学の学生ボランティアや受け入れスタッフと一緒に草原で遊び、親も子供から解放され心のケア講座で気持ちがリフレッシュできました。麻績小学校5・6年生と福島の子供たちが、昔の遊びを体験し麻績の子供が福島の子供たちに教えるなど交流ができました。サマーナイトフェスティバルでは、参加者全員がステージに上がり、祭りを盛り上げました。他にも色々な場面で、村民との出会いの場があり、また受け入れ態勢も昨年以上に輪が広がり、筑北村の団体にも協力していただきさらに連携の輪が広がる事が期待されます。期間を通して参加した家族の満足度は非常に高く、来年もぜひ参加したいという声とともに、今回のキャンプをきっかけに聖高原ファンクラブを作りたいなど知名度アップの効果も期待されます。

## 【目標・ねらい】

- 放射能の不安から解放し親と子供の気持ちがリフレッシュ
- 参加者と麻績村内外の住民との絆づくり
- 麻績村・聖高原の知名度アップ

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

## 今後の取り組み

先の見えない放射能の不安に、本事業を継続させることが今後も必要と感じます。今回は守成クラブ郡山 (参加者公募) と OMIMO (受け入れキャンプ運営) との共催でしたが、来年開催に向けて、以前参加いただいた方々を巻き込み福島でも OMIMO のような組織を立ち上げ、OMIMO と交流を図りながら資金面やサポート面で一元的に活動していくことを考えています。また、村内外の団体協力連携する機運を盛り上げていきたい。すでに今年の参加者から麻績のお米の購入希望があり相互にメリットのある方法を検討していきたいと思ひます。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある